

日本原子力研究開発機構の大洗研究所廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の
変更認可申請に係る追加説明について
(令和2年1月22日 第329回 核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合の回答)

<ご質問>

- | |
|--------------------------------------|
| ○ 許可等の設計方針を設工認で変更しているものを整理し説明すること。 |
| ・ 評価条件及び評価における数値の差異についても資料を加え、説明のこと。 |

<回答>

1. 設計方針について

固体廃棄物減容処理施設は、許可書の設計方針に基づき設計しており、設計方針を設工認で変更していない。

2. 本設工認において変更した評価条件及び評価における数値の差異について

許可書の「第八条 外部からの衝撃による損傷の防止」では、敷地の北部及び東部に位置する廃棄物管理施設19施設を全て網羅的に評価するために、保守的になる評価条件を設定し、評価している。

固体廃棄物減容処理施設は、このうち敷地の東部に位置すること、既に新規制基準施行前の旧許可書に基づき設工認の認可を得て建設していることから、施設固有の設計仕様があり、設工認として新たに評価している。

評価条件及び評価における数値の差異の理由を以下に示す。

- ① 許可書における廃棄物管理施設全体の網羅的な評価に対して、固体廃棄物減容処理施設固有の設計仕様を反映し、評価しているもの。
- ② 固体廃棄物減容処理施設は鉄筋コンクリート造であり、一般的に強固であることから設計尤度があり、設工認の設計評価を簡潔にするため、許可書の評価に対して、より厳しい条件を想定して評価をしたもの。
- ③ 廃棄物管理施設の現場状況を反映したもの。

評価条件及び評価結果と変更した理由の一覧を次の表に示す。

以上

表 評価条件及び評価結果と変更した理由の一覧

	評価条件/評価結果	変更した理由		
		①施設固有の設計仕様（インプット）及び設計仕様を基に評価したもの	②許可書の評価に対して、より厳しい条件を想定して評価をしたもの	③廃棄物管理施設の現場状況を反映したもの
IV-1-1 竜巻	評価設備対象（固体廃棄物減容処理施設ガス消火設備ボンベ庫、配管類）	○		
	水平方向の衝撃荷重評価における施設の受圧面積	○		
	コンクリート強度及び建家壁コンクリート厚さ（打ち増しの厚さ）	○		
	設計飛来物の評価対象からの一部除外	○		
	水平衝撃荷重（空力パラメータ含む）	○		
	設計竜巻による申請設備の水平方向及び鉛直方向の荷重評価		○	
	貫通限界厚さ及び裏面剥離限界厚さ	○		
IV-1-2 森林火災	防火帯相当エリアの距離			○
IV-2-1-2 航空機落下影響	対象航空機の追加	○		
	評価対象（固体廃棄物減容処理施設ガス消火設備ボンベ庫、配管類）を加えた新たな評価による離隔距離	○		
	二次的影響評価として周辺施設の非常用発電機用の燃料小出槽の評価	○		
IV-2-2 近隣工場等の火災	固体廃棄物減容処理施設の周辺影響として国道 51 号タンクローリ、給油車、他施設タンクローリの評価	○		
	コンクリート表面の初期温度		○	
	建家外壁表面温度		○	
V-1 内部火災	火災源の材質別の仕様	○		